

グループインタビュー実施結果

●目的

令和2年度を始期とする新しい総合計画の策定にあたり、町内で活躍している団体に対し日頃の活動を通じて感じている現状や課題等について、新しい総合計画における施策の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的としてヒアリングを実施した。

●実施期間

令和元年6月13日～7月9日

●実施団体（全14団体）

- ・当別町商工会
- ・北石狩農業協同組合
- ・当別町観光協会
- ・当別町高齢者クラブ連合会
- ・当別町PTA連合会
- ・当別町女性団体連絡協議会
- ・当別町ボランティア連絡協議会
- ・当別町ジュニアリーダーサークル「EZO'Jr」
- ・北海道医療大学（SCPIほか）
- ・社会福祉法人 当別町社会福祉協議会
- ・社会福祉法人 ゆうゆう
- ・一般社団法人 当別青年会議所
- ・NPO法人 ふれ・スポ・とうべつ
- ・NPO法人 まちの森

●各団体からの意見と総合計画への反映

基本施策	中項目	各団体からの意見
基本施策1 住みよいまちづくり	(1) 地域コミュニティの創造	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による担い手の不足などで団体の会員数が減少し、今後継続していくことが難しくなっている。 ・行政とうまく連携が取れず、事業がスムーズに進まないことがある。 ・年齢、性別に関係なく皆が地域で社会活動に参加しやすいまちづくりを実現してほしい。 ・町内会単位のお祭りやイベントが少なくなっている。町内会が盛り上がり、地元愛を醸成できるのではないかと。
	(2) 住環境の整備・土地利用・都市計画	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加していくことを考えると、コンパクトシティの実現が必要なのではないか。 ・空気がおいしく、自然にあふれた田舎ながらのよさを生かしたまちづくりをしてほしい。 ・天体観測所などの自然を生かした遊べる施設があれば、町の雰囲気合っていると思う。 ・公園の遊具が整備されていなかったり、外で遊ぶ場所が少ない。
	(3) 防災・国民保護・防犯・交通安全の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・震災の時、町からの正確な情報を得ることが難しかった。公式のラインアカウントやインスタグラムなど、若者向けの情報発信も必要なのではないか。 ・実際に災害が発生した時、中心となる町職員の経験不足が考えられる。訓練等でいつ起こってもいいように備えておくべき。
	(5) 道路・公共交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・車がパンクすることが多いので、道路整備をしっかりと行ってほしい。 ・子どもから高齢者まで、快適に移動することができるよう公共交通を充実させてほしい。 ・朝混んでいてバスに乗れなかったり、待ち時間が長かったりと、やむなくJRでの移動を選択することがある。 ・JRの本数が増えたり、札幌まで快速があると便利だと思う。
	(8) 健全な行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校建設後、当別小学校の活用検討が必要ではないか。
基本施策2 豊かな人づくり	(1) 生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町規模だからこそできる世代間の交流の場やイベントがあると、子どもからお年寄りまで生き生きと暮らせると思う。 ・本を読むだけでなく勉強する場としても、充実した図書館があると嬉しい。
	(2) 学校教育・青少年教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達により良い教育を提供するため、コミュニティ・スクールを推進していきたい。 ・郷土愛を持ち、当別で暮らしたいと思えるような機会を創出してほしい。 ・学校の図書館が充実していないため、あまり活用しない。 ・冬季の危機管理など、子どもが安全に通学することができる環境づくりが大切だと思う。 ・当別地区と西当別地区で学力の差や教育環境に違いがある。 ・不登校児童に対し、行政と学校が連携して対策を講じる必要があるのではないかと。
	(3) 子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊べる屋内施設や、子育て中のお母さんが気軽に集える場所がゆとりしかない。 ・小児科や産婦人科がないため、札幌や江別に行くことになる。そのため、交通費の助成などがあるとありがたい。 ・他市町村と比較して、医療費等の子育て世帯に対する助成が少ない。 ・おむつ代やミルク代の補助があれば、移住してくる人が増えるかもしれない。 ・プレイハウスではなく、小学生が自由に遊べる施設があるとよい。
	(4) 文化・スポーツ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町の歴史文化を伝える手段が貧弱であることから、看板の設置や街並みの統一をした方がよい。 ・心に残る伝統をいつまでも残していきたい。 ・子どもから高齢者まで、スポーツを通じた健康づくりを推進していきたい。 ・学校教育とスポーツ団体の連携を深めていきたい。 ・総合体育館周辺にコミュニティ施設があればいいのではないかと。
基本施策3 元気なまちづくり	(1) 地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのつながりを大切に、いつも誰かに見守られていて、共に助け合い安心して暮らすことができるまちづくりをしてほしい。 ・核家族化により、独居老人が増加している。 ・複合的課題解決に向けたワンストップ窓口が必要である。 ・福祉のニーズは増えているが、対応する職員が不足している状況である。 ・成年後見制度に対する整備が遅れているため、成年後見支援センターが必要である。 ・高齢化によるボランティアの担い手不足が問題であり、人員の確保が大変である。
	(3) 地域医療の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・入院できる総合病院がないことは生活していくうえで不安である。
基本施策4 活力あるまちづくり	(1) 農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・町と団体が一体となって、課題を確実に実行し成果を上げていける体制づくりが必要。 ・高齢化による担い手不足や人手が不足しているため、新規就農者への支援が必要である。 ・米の需要が高く、水田を水田として利用したい。 ・土地改良の助成が乏しいため、助成を強化し農地の基盤整備が必要である。 ・直売所の活用やアンテナショップの開設など、販路の拡大が必要である。 ・メディアやふるさと納税を活用し、農産物のPRを強化したい。
	(2) 商工業・観光業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が継続せず、一時的なものになってしまう。 ・修繕等の既存店舗に対する支援が必要である。 ・住宅のリフォームに対する助成など、町の事業所が活発になるような新しい施策の構築が必要である。 ・民間アクティビティとのさらなる連携や、農業を生かした観光事業の構築が必要である。 ・道の駅に観光案内所を設置するなど、道の駅を中心とした自然の中でアクティビティやアウトドアを楽しめるようにしたい。 ・地理的な優位性を生かしたロケ地の誘致を行いたい。
	(3) 企業誘致・雇用対策	<ul style="list-style-type: none"> ・減少傾向にある料飲店の創業に力を入れていきたい。 ・当別町版の空き家、空き店舗バンクがあると便利である。 ・新規雇用がなかなか生まれない一方で、働き手が不足している事業所もあり、人材のマッチングが必要である。 ・学生の働く場所（アルバイト、就職先）がない。 ・障がい者の多様なニーズに答えることのできる雇用の創出が必要である。